



令和2年7月22日(水)

国土交通省関東地方整備局

川崎国道事務所

—お知らせ—



国道16号保土ヶ谷バイパス(Ⅱ期)  
高架部ランプ開通後の交通状況

平成28年4月24日に国道16号保土ヶ谷バイパス(Ⅱ期)本線部が開通後、平成31年3月16日に東名高速に直結するランプが開通したことにより、八王子方面から横浜町田ICへは保土ヶ谷バイパスからも直接利用することが可能になりました。

ランプ開通後、国道16号保土ヶ谷バイパス(Ⅱ期)の利用が定着してきたため、交通状況をとりましたのでお知らせします。

＜保土ヶ谷バイパス(Ⅱ期)の利用が促進＞

・保土ヶ谷バイパス本線部

**保土ヶ谷BP(Ⅱ期)の交通量は約22%増加**

《開通前》 約 - 台/日

《本線部開通後》 約36,100台/日(開通前比-%)

**《ランプ部開通後》約43,900台/日(開通前比+約22%)**

・国道16号一般部

**一般部の交通量は約19%減少**

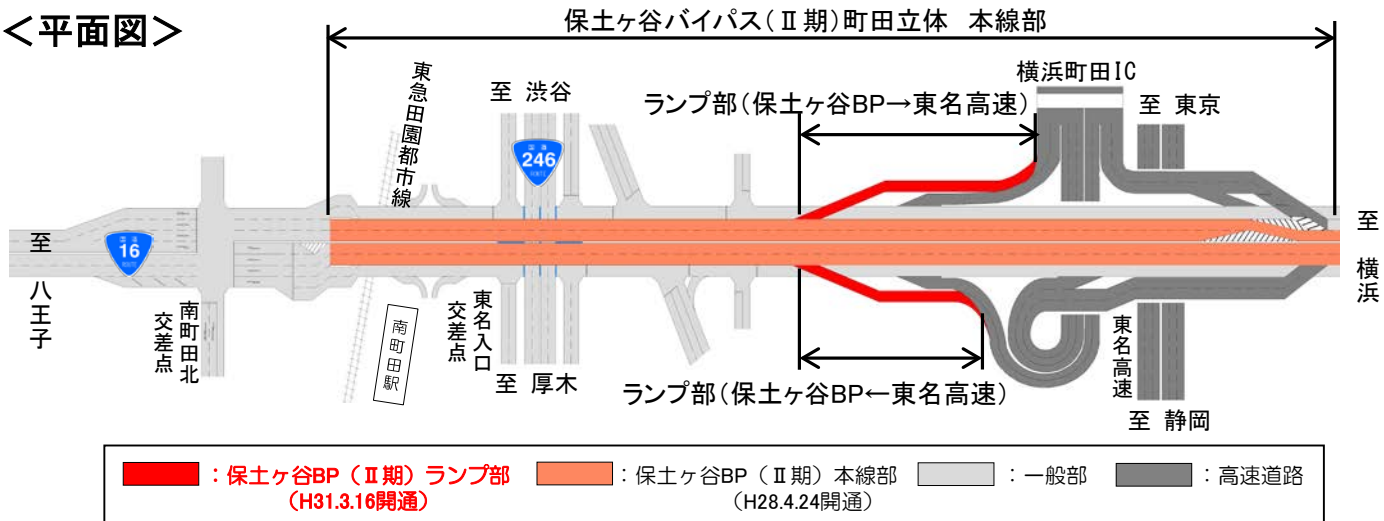
《開通前》 約42,300台/日

《本線部開通後》約28,800台/日(開通前比-約32%)

**《ランプ部開通後》約23,300台/日(開通前比-約19%)**

本線部開通前 : 平成27年12月1日(火)  
ランプ部開通前 : 平成30年12月4日(火)、18日(火)の平均値  
ランプ部開通後 : 令和2年2月4日(火)、6日(木)の平均値

＜平面図＞

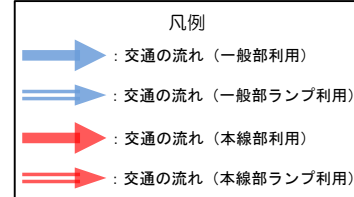
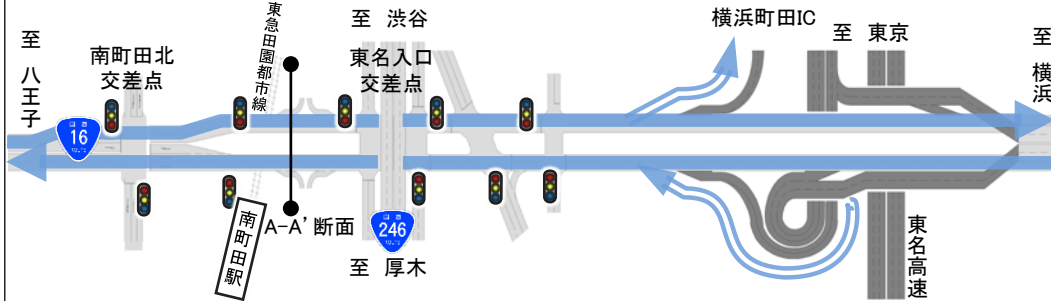




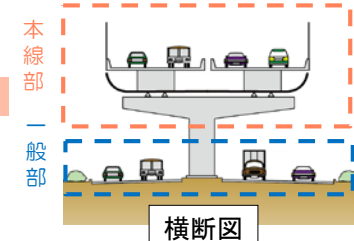
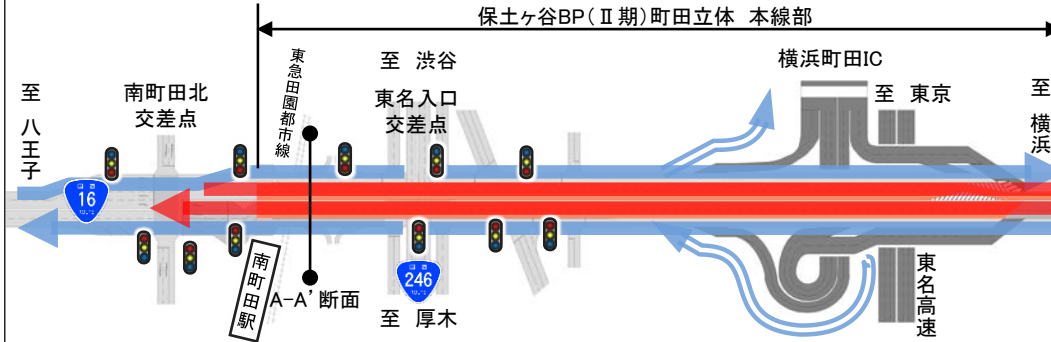
# 町田立体の利用が促進

- 国道16号一般部の交通量は、平成28年度の町田立体本線部の開通により減少傾向にあるが、平成30年度の高架部ランプの開通により、**開通前28,800台/日から開通1年後には23,300台/日となり約19%減少し、一般部の交通量がさらに減少。**
- ランプ部が東名高速と直結したことにより保土ヶ谷バイパスの利便性が向上し、**町田立体本線部の交通量は、開通前36,100台/日から開通1年後には43,900台/日となり約22%増加。**

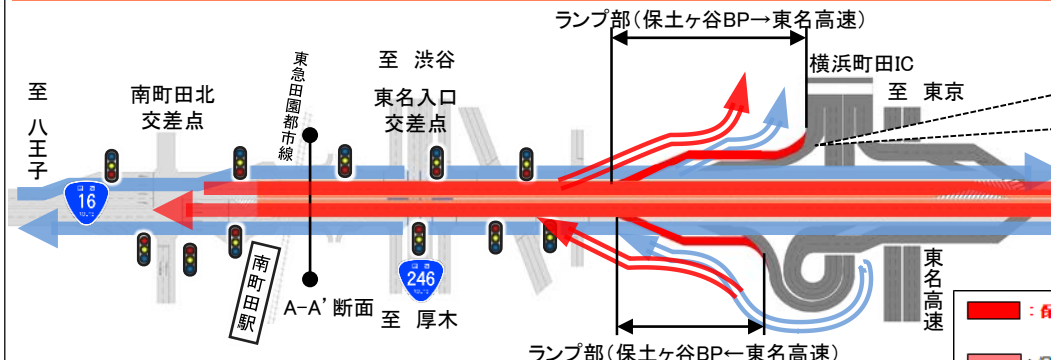
## ■本線開通前（～H28.4.23）



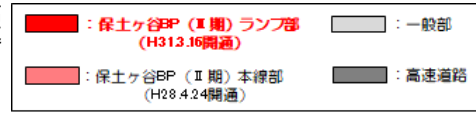
## ■本線部開通後（H28.4.24～）



## ■ランプ部開通後（H31.3.16～）

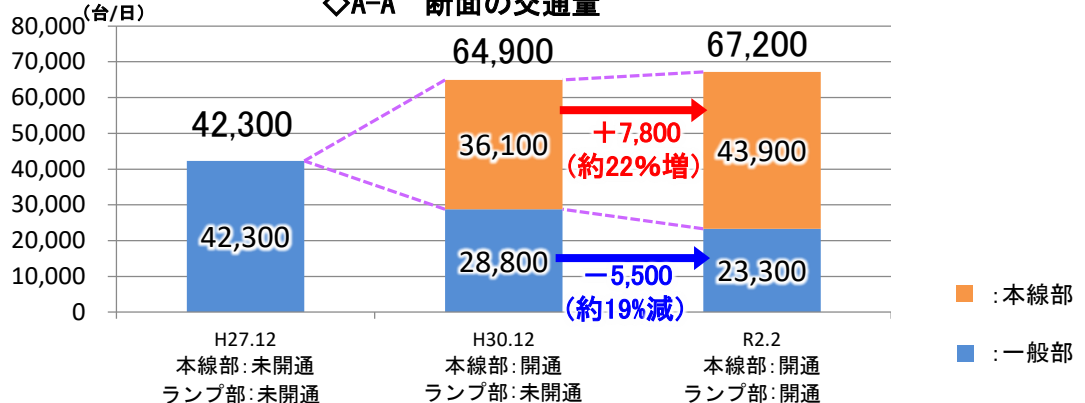


南町田北交差点～横浜町田IC間で信号機のある交差点(4箇所)を bypass せずに、本線部から直接利用できるよくなりました！



## ○断面交通量の変化

### ◇A-A' 断面の交通量



本線部開通前 : 平成27年12月1日(火)  
 ランプ部開通前 : 平成30年12月4日(火)、18日(火)の平均値  
 ランプ部開通後 : 令和2年2月4日(火)、6日(木)の平均値



# 町田立体本線部へ交通量が転換

○町田立体本線部の開通により、国道16号一般部および並行する町田街道・八王子街道の交通量が減少し、町田立体本線部に交通量が転換。その後、高架部ランプの開通により、東名高速とのアクセス交通が一般部から町田立体本線部へ転換。

## ■町田立体および並行道路の交通量



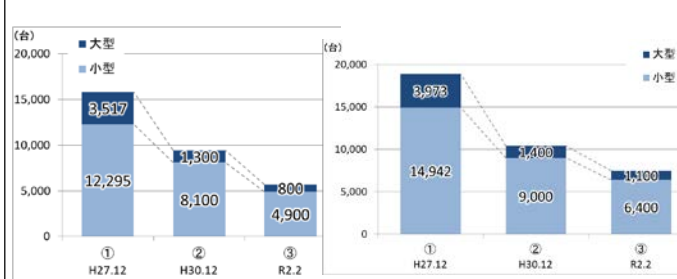
出典：国土地理院ウェブサイト

<https://maps.gsi.go.jp/#13/35.506239/139.481392/&base=std&ls=std&disp=1&vs=c1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f0>

### 国道16号 一般部

上り：横浜方面

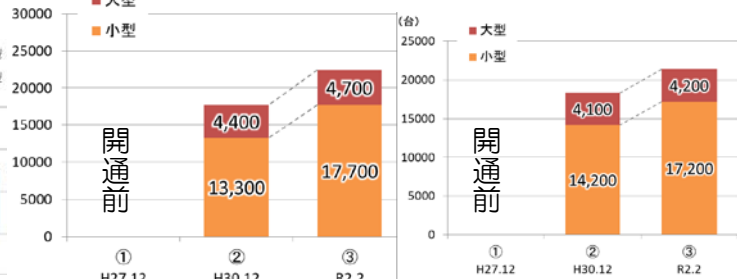
下り：八王子方面



### 町田立体 本線部(H28.4.24開通)

上り：横浜方面

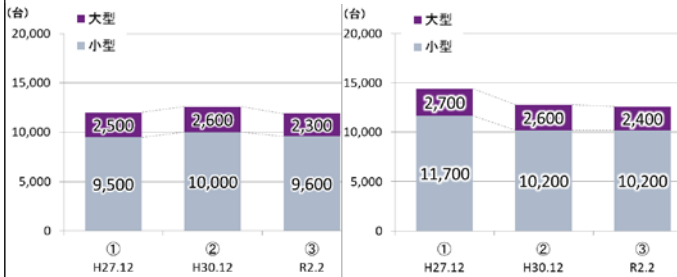
下り：八王子方面



### 八王子街道

上り：横浜方面

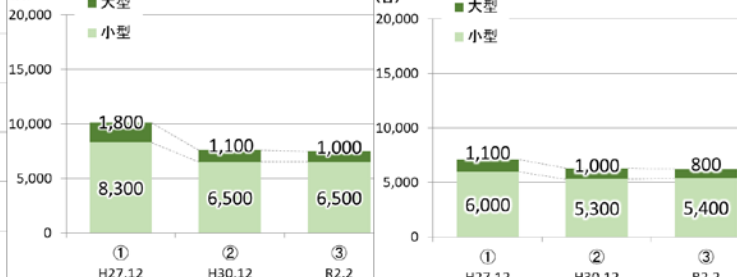
下り：八王子方面



### 町田街道

上り：横浜方面

下り：八王子方面



①本線部開通前：平成27年12月1日(火)

②本線部開通後：平成30年12月4日(火)、18日(火)の平均値

③ランプ部開通後：令和2年2月4日(火)、6日(木)の平均値

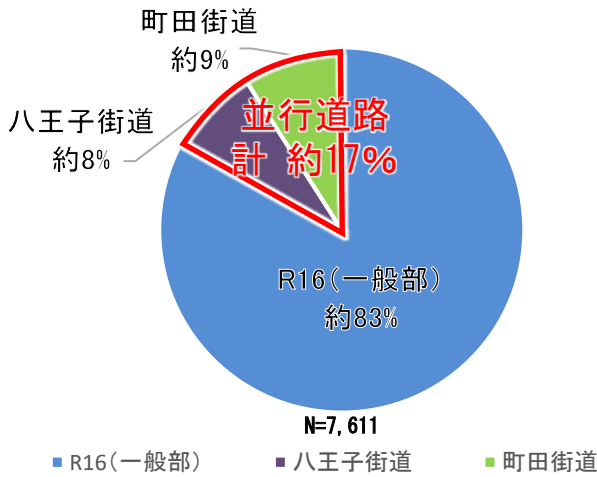


# 町田立体本線部へ通過交通が転換

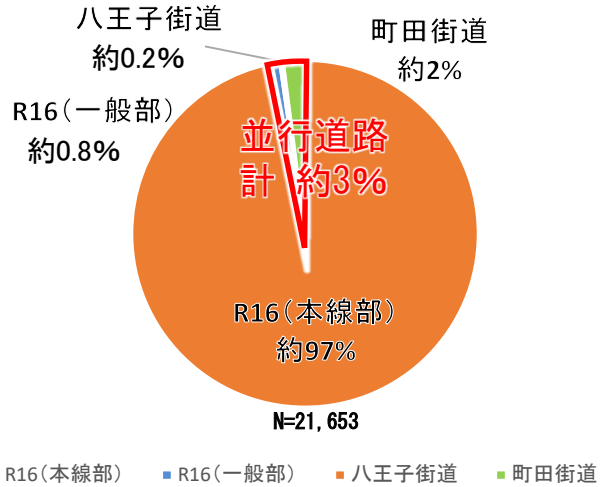
- 町田立体本線部及び高架部ランプの開通により、国道16号一般部及び並行する町田街道・八王子街道の通過交通が保土ヶ谷バイパスに転換。
- 通過交通のうち商用車が一般部を利用する割合は約83%から約0.8%に減少、町田街道・八王子街道を利用する割合は約17%から約2.2%に減少し、大半の通過交通が本線部へ転換している。

## ■A→C断面通過車両の利用経路

H27年度(町田立体本線部開通前)

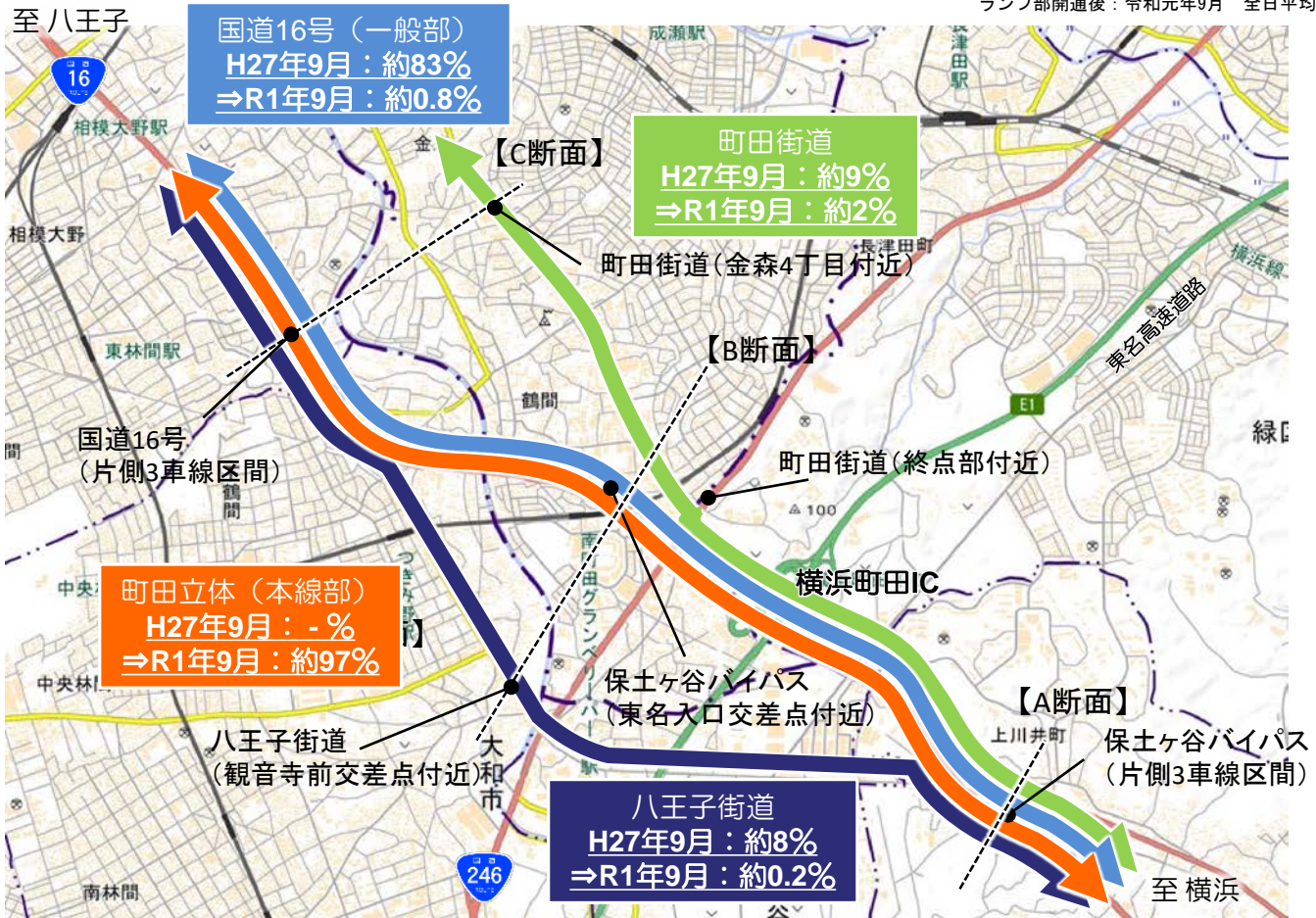


R1年度(町田立体ランプ部開通後)



※グラフはA断面かつC断面を通過した車両におけるB断面の通行断面

商用車プローブデータ  
本線部開通前：平成27年9月  
ランプ部開通後：令和元年9月 全日平均



出典：国土地理院ウェブサイト

<https://maps.gsi.go.jp/#13/35.506239/139.481392/&base=std&ls=std&disp=1&vs=c1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f1>



# 町田立体の渋滞が緩和

- 町田立体本線部及び高架部ランプの開通により、東名高速道路へのアクセスが向上したため、町田立体を通過する交通は一般部から本線部に転換。
- 国道16号一般部における南町田北交差点⇒横浜町田ICランプの所要時間は6分から3分と約5割短縮。

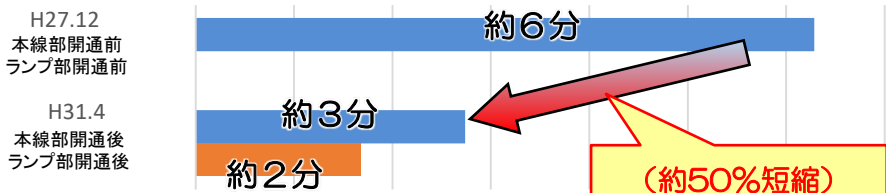


<https://maps.gsi.go.jp/#13/35.506239/139.481392/&base=std&ls=std&disp=1&vs=c1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f1>

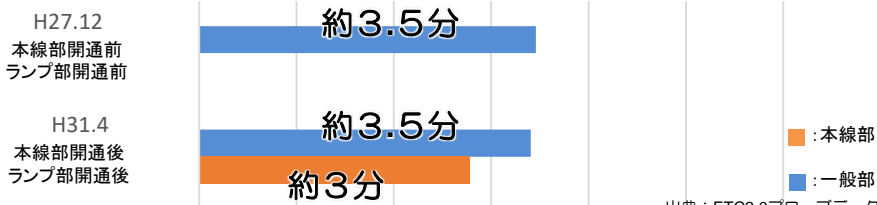
## ○南町田北⇒横浜町田ICランプまでの所要時間

所要時間(分)

### 上り：横浜方面



### 下り：八王子方面



## 【国道16号保土ヶ谷バイパスを利用する物流企業の声】

使用データ：ヒアリング調査結果



東名入口交差点の信号等、複数の信号を通過する必要がなくなり、保土ヶ谷バイパス通過の所要時間が短縮した。(物流)



ランプ開通後は、大きな渋滞もなくスムーズに高速に入れるようになった。(物流)

出典：令和元年企業ヒアリング調査

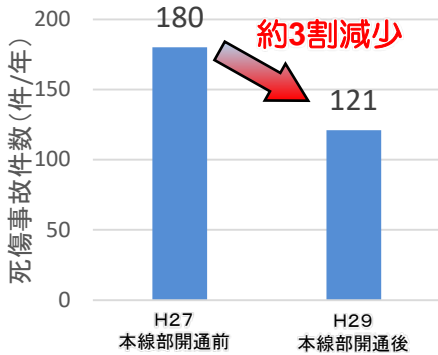


# 暮らしの安全・安心

- 平成28年の町田立体本線部開通により、周辺道路および一般部の交通が本線部に転換し、事故減少に寄与。
- 町田立体本線部を含む国道16号では、死傷事故件数が180件/年から121件/年と3割減少、八王子街道は55件/年から40件/年と約3割減少、町田街道は63件/年から55件/年と1割減少。

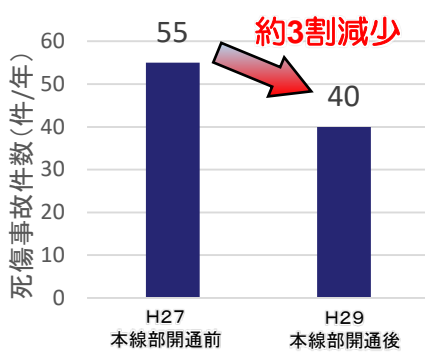
国道16号

(下川井IC～鶴野森交差点)



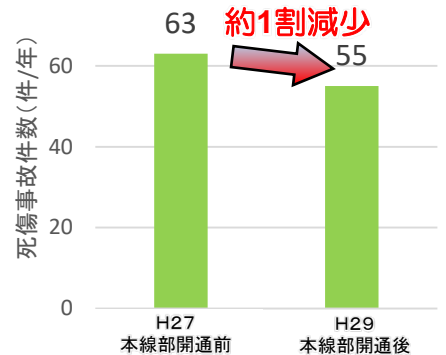
八王子街道

(下川井IC～つきみ野入口交差点)

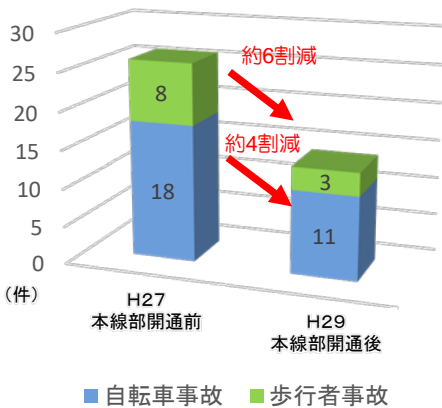


町田街道

(辻交差点～旭町交差点)



国道16号事故件数(自動車 対 自転車・歩行者)



## 【国道16号保土ヶ谷バイパスを利用する物流企業の声】

## 使用データ：ヒアリング調査結果



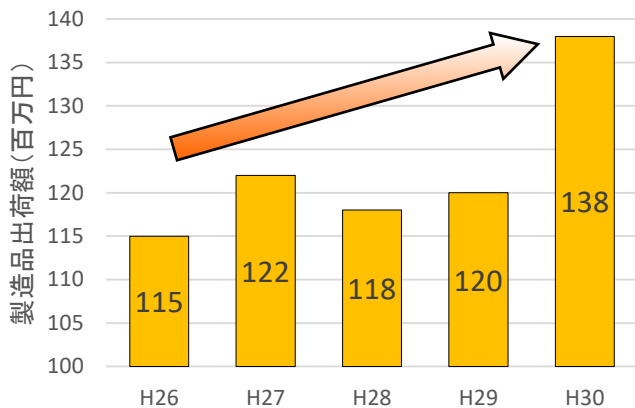
国道246号や、わき道からの合流がなくなり、歩行者や自転車との錯綜が減り、安全性が高まった。

出典：令和元年企業ヒアリング調査

# 企業活動の支援

- 国道16号沿線の相模原市における製造品出荷額及び工業用地面積は年々増加傾向にあり、今後も産業用地創出拠点等が計画されており、より一層の保土ヶ谷バイパスの利用が予想される。
- 物流企業からは、相模原方面～横浜町田IC間の渋滞の分散や所要時間の短縮に関する意見が聞かれた。
- 物流企業の中には、保土ヶ谷バイパスの渋滞緩和により2020年4月に保土ヶ谷区方面への事業拡大が予定している企業もあり、物流効率化へ寄与。

製造品出荷額(相模原市)

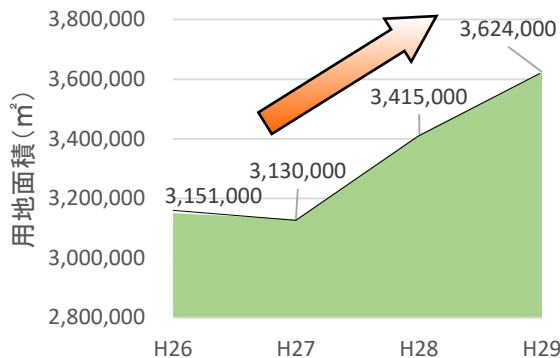


出典: 経済産業省工業統計調査



国道16号 保土ヶ谷バイパスの交通状況

工業用地面積(相模原市)



出典: 相模原市統計書(令和元年度版)

【国道16号周辺の産業地域計画】



- : 産業用地創出拠点予定地  
出典: 相模原市HP
- : 工業団地等計画地  
出典: 2019日本立地総覧

出典: 国土地理院ウェブサイト

<https://maps.gsi.go.jp/#13/35.506239/139.481392/&base=std&ls=std&disp=1&vs=c1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f1>

## 【国道16号保土ヶ谷バイパスを利用する物流企業の声】

使用データ: ヒアリング調査結果



以前は、つきみ野付近まで渋滞していたが、大幅に減った。東名高速入口交差点等の信号を通過する必要がなくなり保土ヶ谷BP通過の所要時間が短縮した。



以前に比べ、混雑や渋滞がなくなり、ストレスが解消された。



保土ヶ谷BPの渋滞が緩和されたため、保土ヶ谷区への配送の仕事を2020年4月より受けることにした。

出典: 令和元年企業ヒアリング調査